

**令和5年度第2回鹿児島市病院事業経営計画策定推進委員会
(10/3開催)における委員の主な意見について**

- 1 患者にも医師の働き方改革について理解をして頂く必要がある。院内でも一部の医師ばかりに負担が掛かることが無いように進めてもらいたい。

- 2 救急搬送については、患者をどこに搬送するのが患者の為になるのか、どうするのが最善なのかを判断するのは現場の隊員であり、その判断も常に変化する。変化に対応する為にも、救急隊と救急の医師は頻繁に話し合いをしていかななくてはならない。

- 3 市立病院は救急医療体制も整っているので、病院としてどういう考えを持ち、どんな整備をしようとしているのか、目指す救急医療体制等についてももっとアピールしていった方が良い。